



# Noto PLUS

# 2

## 世界に一つだけの卒業証書作り

久田和紙の卒業証書作りに、今年度から小木中学校3年生が参加。コウゾの伐採から工程を体験した生徒たちは1月24・25日、小間生公民館で紙すきに挑戦しました。



# For all the local people NOTO FIELD NOTE

illustrated by a.yamazaki

協力：中 正道さん 他

Page 2

DATE: 2012.12.5  
RESUME: 能登町柳田

田の神様は夫婦とされるが、ひとりやろ人の場合もある。御膳もそれに合わせる。左側は御膳の例

朱塗りか黒塗りの御膳 合展椀に甘酒

おはぎ つぶあんときなこ。

はちめ(メバル) 旬魚の定番。赤でも黒でもよい。生魚の刺身共す。

山の幸・里の幸(身の回り)で収穫

銀杏 白米(1升2合盛り)

小豆 粟 黒豆

供物の種数は 奇数。

二股大根は子孫繁栄と生殖の象徴。二股は女性、一本は男性を示し夫婦和合を表す。

刺身 ブリは縁起のいい出世魚。迎えるあえのことの12月5日は旬の始まり。2月9日の送りのあえのことはタラの子付けとタラ汁を供す。

汁物 細豆汁 粘り強く働くから。

栗の木の箸 36cm 枝から削り出し 1尺2寸の長さにする。12ヶ月を表し、鎌の柄と同じ長さ。

平鍬 農作業に かわる道具 置き、畝間に 踏(ふみ)を敷く。

稲作由縁の禁忌として、「焼く」は田が焼けるので×。「蒸す」も湿気による病害虫に通じ縁起が悪い。

その時期に身の回りにある物や手に入れられるもので神様をもてなすのが基本。

直会としてごちそうのお下がり家族で食べられる素朴な喜びがあえのこを続ける強い動機だった。

この神事に「正式」や「略式」はなく、多様。代々各家族に伝わる刈方が全て正しい!

神座 田の神様の依代はヒサカキ。ふんであら(俵のふた)に座す。座布団も可。

## 「あえのこ御膳」

「あえのこ」をする人も減り、大勢の田の神様がホームレスになっています。お宅でも昔のやり方を思い出して、家に神様をお迎えしてみませんか？これは能登の農家しか受け継げない家族の神事なのですから。

【絵・文】 山崎昭宏 <http://blog.livedoor.jp/yurariburari/>  
※無断転載を禁じます。

